



# AI Tools – What We Need to Buy and Why

## AI ツール – 何を購入するか、なぜか

April 8, 2026 / 2026 年 4 月 8 日

---

**English Version**

[See page 12 →](#)

**日本語版**

[3 ページへ →](#)

# AI ツール — 何を購入するか、なぜか

2026 年 4 月 8 日

---

## 目次

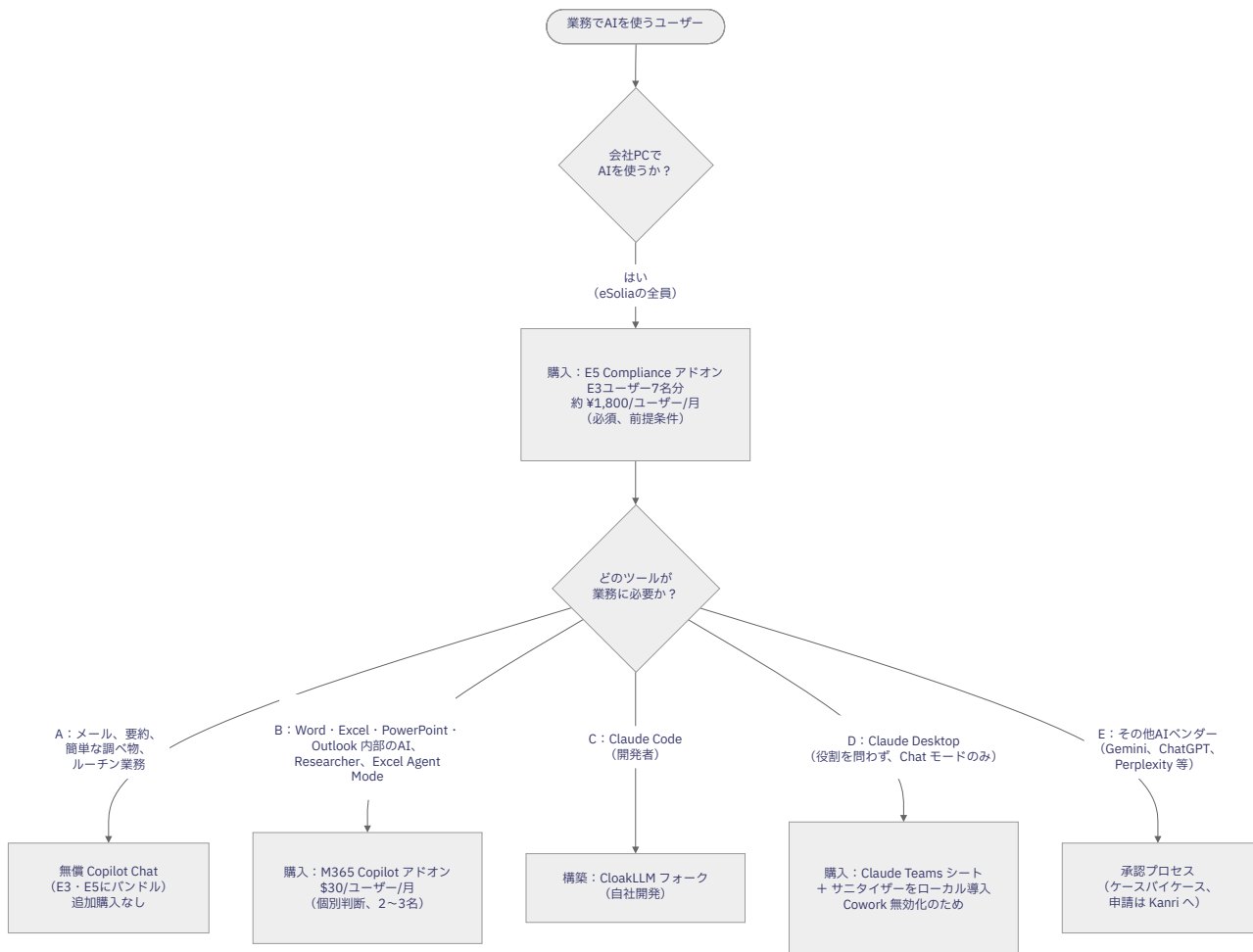
目的 .....	3
判断フロー .....	3
各購入項目の中身 .....	4
各項目を購入する理由 .....	4
非開発者と Claude Desktop .....	5
その他の AI ツール (Gemini、ChatGPT、Perplexity 等) .....	6
コンシューマーティアとビジネスティアの違い .....	6
DPA の扱い：小さな会社にとっての現実 .....	7
承認パス .....	7
既定でブロック中のツール .....	7
総費用シナリオ .....	7
調達の順序 .....	8
買わないもの .....	9
購入前に確認する項目 .....	9
お問い合わせ .....	11

## 目的

AI 保護のために必要な投資項目を、具体的な製品・サービス・費用とともに整理した調達判断ガイドです。購入理由の社内説明に役立ちます。

## 判断フロー

このフローはユーザー属性ではなく、**ツール起点**で設計しています。一人のユーザーが複数のツールを使う場合もあります（開発者が Claude Code と Claude Desktop の両方、分析担当者が有償 Copilot と Claude Desktop の両方、など）。その場合は該当行を合算してください。



AI ツール購入の決定木

このフローでは5つのツールニーズに対して5つの具体的な答えが対応しています。CとDは実際にはよく組み合わせられます。開発者は通常 Claude Code と Claude Desktop の両方を使います。BとDも組み合わせる場合があります（Office 内とスタンドアロンの両方で Claude を使う分析担当など）。Eは承認リストにないものへの受け皿で、必ず誰かが希望するため用意しています。

## 各購入項目の中身

#	項目	対象	提供される機能	年間費用
1	<b>E5 Compliance アドオン (E3 向け)</b>	E3 ユーザー 7 名 (E5 の 3 名は対応済み)	Purview Endpoint DLP、DLP for Copilot、DSPM for AI。E3 を E5 同等のコンプライアンス水準に引き上げ。	約 ¥150,000
2	<b>Claude Teams サブスクリプション</b>	Claude Desktop 利用者。初期：ISO リード+1 名。リックは後日。	管理コンソールと <b>Cowork 無効化ツール</b> 、一元課金、組織メンバーシップ共有。	約 ¥135,000～270,000
3	<b>M365 Copilot 有償アドオン</b>	Office 内 AI が必要な 2～3 名	Word・Excel・PowerPoint・Outlook・Teams 内 AI、Researcher、Agent Mode、OpenAI/Claude 切替。	約 ¥55,000/シート
4	<b>eSolia サニタイザー (CloakLLM フォーク)</b>	Claude Code+ Desktop ユーザー	プロンプトをローカルでサニタイズし、クライアント情報をプレースホルダに置換。自社開発。	¥0
5	<b>無償 Copilot Chat</b>	全員 (E3・E5 共通)	Microsoft エンタープライズデータ保護下の AI チャット。	¥0 (バンドル済み)

## 各項目を購入する理由

**項目 1 (E5 Compliance アドオン) は E3 ユーザーにとって必須です。** E5 ユーザー 3 名は既に Purview Endpoint DLP、DSPM for AI など必要なコンプライアンス機能を持っています。E3 ユーザー 7 名は持っていません。E3 マシンに同じ機能を追加しなければ、チームの大半に対して強制力のある仕組みが存在しないこととなります。Purview Endpoint DLP は、個人の ChatGPT にクライアントデータを貼り付けようとした同僚を実際にブロックする仕組みです。DSPM for AI は、ISMS やクライアントからのセキュリティ質問に正直に答えるための監査ログです。Purview DLP for Copilot は Copilot のプロンプト内の機密情報を捕捉します。これらの機能は E5 ライセンスか、E3 への Compliance アドオンでのみ手に入ります。E3 の標準構成には入っておらず、同価格帯のサードパーティ DLP 製品で代替することもできません。Microsoft の現行価格は約 \$12/

ユーザー/月、為替換算で約 ¥1,800。E3 ユーザー 7 名 × 12 ヶ月で約 ¥150,000/年。アドオン購入後、eSolia の全 10 名が同じコンプライアンス境界の内側に入ります。

**項目 2 (Claude Teams) は Cowork 無効化トグルを得るための購入で、このトグルは他のどの Claude プランにも存在しません。** Pro や Max ではなく Teams を選ぶ具体的な理由がこれです。Cowork は Claude Desktop のエージェント型ファイルアクセスモードで、ローカルファイルの読み取り、スケジュールタスクの実行、ユーザーの代わりに行動を起こす動作が可能です。同時にリサーチプレビュー段階で監査ログが無く、eSolia の ISMS 要件と両立しません。組織全体で Cowork を無効化する唯一の方法は、Claude Teams と Claude Enterprise に付属する管理コンソールのトグルです。個人の Pro・Max アカウントには同等のトグルがなく、Cowork は既定でオンのままです。したがって、業務で Claude Desktop を使うすべての eSolia メンバーにとって、Teams が正しいティアです。リックは個人の Claude Pro Max アカウントに蓄積されたチャット履歴が大量にあり、Teams への移行には時間と計画が必要です。当面は個人アカウントを継続し、実用的な移行方法が整ったら移行します。その間、Teams サブスクリプションは ISO リードともう 1 名から始め、必要に応じて拡大します。Teams の価格は契約サイクルにより \$25~30/ユーザー/月。シート下限（通常 5 シート）がある可能性があり、購入時に Anthropic 営業への確認が必要です。

**項目 3 (有償 M365 Copilot) は Office アプリ内の AI 統合が主題で、Claude アクセスは機能の一つにすぎません。** 無償 Copilot Chat (項目 5) はスタンドアロンの AI チャットとしてルーチン業務をカバーします。有償版はそれとは質的に異なります。同僚が普段使っている Word で文書を起草する、Excel でデータを分析する、Outlook でメールをレビューする、PowerPoint で資料を作るといった作業の中に AI が組み込まれ、アプリを離れずに使えます。多ソース分析のための Researcher エージェント、Excel の自律的データ処理のための Agent Mode、これらのエクスペリエンスの中で OpenAI と Claude Opus 4.5 を切り替えて使える機能も加わります。Claude が使えるのは複数ある機能の一つで、購入理由の全てではありません。判断はシンプルで、「この人の業務は Office アプリの中で完結しているか？」という問いです。答えが「はい」ならアップグレードの価値があります。AI 利用の多くが「新しいタブを開いて質問する」形式なら、無償 Copilot Chat で十分です。全 10 名のうち 2~3 名が該当すると想定し、調達前に個別に判断します。

**項目 4 (サニタイザー) は購入ではなく社内構築です。** CloakLLM というオープンソースプロジェクトをフォークし、日本語固有の改良を加えます。フォークは eSolia のプライベート GitHub リポジトリに置きます。Claude Code と Claude Desktop ユーザーへの配布はラッパースクリプト経由で行います。ライセンス費もベンダーも発生しません。自社で開発します。

**項目 5 (無償 Copilot Chat) は既に支払済みです。** E3 と E5 ライセンスにバンドルされている権利で、追加購入は不要です。ライセンス層を問わず、全員のデフォルト AI ツールです。ユーザーは copilot.microsoft.com で eSolia アカウントでサインインするだけ。画面右上のシールドアイコンが、エンタープライズデータ保護が有効であることを示します。

## 非開発者と Claude Desktop

Claude Desktop は開発者限定ではありません。現時点の eSolia は開発者 1 名ですが、Claude Desktop を業務で使う理由がある同僚は複数います。Copilot Chat よりも長文の執筆に適している、Projects 機能（セッション間で持続するコンテキスト）を使いたい、ISMS 関連の試用で使いたい、あるいは単純に Claude の回答のスタイルが GPT より業務に合う、などです。これは現実的なユースケースで、本プランはそれを支援します。初期の Teams メンバー想定は ISO リード (Ena) と試用のもう 1 名、リックは個人 Pro Max からの移行時期が来たら加わる、という構成です。

非開発者の Claude Desktop パスのツーリングは、他の Claude Desktop ユーザーと同一です：

- 同じ eSolia 組織の Claude Teams シートを付与 (Claude Desktop を使う開発者と同じ組織を共有)
- Cowork 無効化の組織設定が自動適用 (ユーザー側の操作は不要)
- サニタイザー (CloakLLM フォーク) を該当マシンに導入。作業は短時間のセッションで完了し、Python の知識も不要です。ラッパースクリプトで一括導入、設定は集中管理
- サニタイザーの MCP サーバーを `claude_desktop_config.json` に登録 (同じ導入スクリプトで実施)
- 以後、開発者と同じ仕組みで保護されます。プロンプトはローカルでサニタイズされ、プレースホルダの差し替えは透過的に行われ、Cowork は無効のまま

Claude Desktop シートの判断基準は、有償 M365 Copilot シートと同じです。業務に本当に必要かを個別に確認し、デフォルトで「はい」としません。多くの同僚は Copilot Chat や有償 Copilot でニーズが満たされ、Claude Teams シートは不要と判断されるでしょう。一方、具体的な理由 (特定のワークフロー、試用の職務上の必要、Copilot では対応できないケイパビリティギャップ) がある同僚にとっては、Claude Teams が正しい選択になります。一人の同僚が有償 M365 Copilot シートと Claude Teams シートの両方を持つこともあります。この二つの購入は別々のサーフェスをカバーしており、機能が重複しません。

## その他の AI ツール (Gemini、ChatGPT、Perplexity 等)

承認リスト外のツールは、現在**評価・試用目的**で検討中です。中心は ISO リード (Ena) で、自身の職務の一部として Claude と並行して Gemini と ChatGPT の有償版を評価したいという意向があります。これは妥当な要望です。ISO リードとして eSolia が使う可能性のある AI ツール全般を把握する責務があり、ハンズオンの評価はその職務に含まれます。リックはこの理由での利用を承認するつもりです。詰めるべき論点は**どのティアを買うか**で、ここを間違えるとデータ保護の実態が大きく変わります。

### コンシューマーティアとビジネスティアの違い

Ena の当初の依頼は「Gemini Pro」と「ChatGPT Pro」でした。どちらの名前もコンシューマーティアを指しており、実際の eSolia コンテンツやクライアントデータに触れる可能性のある業務には適しません。

#### ChatGPT :

- **ChatGPT Plus / Pro** (それぞれ \$20/\$200 per month) はコンシューマーティアです。ビジネス向け Data Protection Addendum (DPA) が付属せず、OpenAI のコンシューマー利用規約が適用されます。業務コンテンツには使えません。
- **ChatGPT Team** (約 \$25~30/ユーザー/月、2 ユーザー最低、年間課金) がビジネスティアです。OpenAI の標準商用 DPA、管理コンソール、SSO、既定でのカスタマーデータ非学習、組織別ワークスペースが含まれます。Ena の評価業務で実 eSolia コンテンツに近いものを扱う場合は、このティアが正解です。
- **ChatGPT Enterprise** (カスタム価格) は Team の上位で、10 名規模の会社の評価業務には不要です。

#### Gemini :

- **Gemini Advanced** (コンシューマーブランドでは「Gemini Pro」と呼ばれることもあり、Google One AI Premium 経由で約 \$20/月) がコンシューマーティアです。ChatGPT Plus と同じ問題を抱えています。ビジネス DPA がなく、コンシューマー規約が適用されます。
- **Gemini for Google Workspace** がエンタープライズデータ保護付きのビジネスティアですが、Google Workspace サブスクリプションが前提です。eSolia は Microsoft 365 ショップであり Google Workspace テナントを持たないため、このオプションは実質的に使えません。Workspace テナントを別途立ち上げるかという別の大きな判断を先に行う必要が生じます。
- **Google AI Studio / Vertex AI** は開発者向け API ティアで規約が異なります。ISO リードの評価業務用のチャットインターフェースには適しません。

Gemini に関する現実的な答えは、純粋な M365 ショップには綺麗なビジネスティアのパスが存在しないということです。Gemini の評価をどうしても行うなら、オプションは次の二つです。(a) Gemini Advanced のコンシューマーティアを使い、合成データや公開情報のみに限定する（実 eSolia コンテンツは使わない）。(b) 評価が実コンテンツに触れる必要がある場合、M365 と並行して小規模な Google Workspace テナントのコストを受け入れる。時間を区切った評価であれば、どちらも文書化した上で許容できる選択肢です。

### DPA の扱い：小さな会社にとっての現実

「OpenAI や Google のような巨大 AI 事業者と、どうやって eSolia が DPA を交渉するのか」という疑問はもっともです。正直な答えは、交渉しません。小規模顧客はこの規模の AI 事業者と DPA の条項を個別交渉することではなく、ベンダーが提示する標準商用 DPA を受け入れる形になります。そしてその標準商用 DPA は、通常ビジネスティア（Team、Enterprise、Workspace 等）でしか提供されず、コンシューマーティアでは提供されません。したがって、新しい AI ツールを承認する際の現実的な基準は「eSolia が DPA を交渉できるか」ではなく、「購入するティアでベンダーが標準商用 DPA を提供しているか、そしてそれを個別交渉なしで受け入れられるか」になります。「はい」なら進められます。「いいえ」なら、ツール自体がどれだけ魅力的でも進められません。

### 承認パス

標準承認リスト外の AI ツールの依頼は、**Kanri** に送付します。承認の会話では以下を確認します：

- どのツールで、どのティアか？
- そのティアは標準商用 DPA と管理機能を備えているか、それともコンシューマー規約のティアか？
- 評価のみで合成データを使うか、実 eSolia コンテンツに触れるか？
- 責任者は誰で、期間はどれくらいか？
- 業務価値に対して支出は妥当か？

Ena の現在の評価要望については、ChatGPT Team（2 シート、年間約 ¥100,000、ビジネス DPA と管理機能付き）を ChatGPT Pro の代わりに推奨するのが現時点の見立てです。Gemini は実コンテンツを使うかどうかで別途判断します。

### 既定でブロック中のツール

以下は Purview Endpoint DLP で既定ブロック対象です。正式に承認が記録されるまで利用できません。

- Google Gemini コンシューマーティア（Gemini Advanced / 「Gemini Pro」）
- Perplexity（全ティア）
- xAI Grok（全ティア）
- OpenAI ChatGPT コンシューマーティア（Plus、Pro）。ただし Microsoft 365 Copilot 経由の GPT アクセスは Microsoft のテナント境界内で動作するため、すでに承認済みです。
- Mistral、Cohere 等のモデルプロバイダーチャットインターフェースへの直接アクセス
- 特化型日本語 AI サービス – 個別判断
- Claude Code 以外の AI コーディングアシスタント（GitHub Copilot、Cursor、Codeium 等） – 個別判断

業務コンテンツに個人 AI アカウントを使う行為は、ベンダーやティアを問わず禁止です。これは Kanri 承認パスの対象外で、恒常的なポリシーとして扱います。

### 総費用シナリオ

初期の Claude Teams シート想定：Ena（ISO リード）+ 試用のもう 1 名で 2 シートから開始。メンバーが増えるか、リックが個人 Pro Max から移行するタイミングで拡大します。

シナリオ	E5 Compliance	Claude Teams	有償 Copilot	年間合計
<b>最小構成</b> (有償 Copilot なし、Teams が 5 シート下限で実利用 2 名)	約 ¥150K	約 ¥225K	¥0	<b>約 ¥375K</b>
<b>現実的構成</b> (有償 Copilot 2 シート、Teams が 5 シート下限で実利用 2~3 名)	約 ¥150K	約 ¥225K	約 ¥110K	<b>約 ¥485K</b>
<b>フル構成</b> (有償 Copilot 3 シート、Teams が 5 シート下限で実利用 3~5 名)	約 ¥150K	約 ¥225K	約 ¥165K	<b>約 ¥540K</b>
<b>拡大構成</b> (有償 Copilot 3 シート + Teams が 5 名超、Claude Desktop の採用が広がった段階)	約 ¥150K	約 ¥270K+	約 ¥165K	<b>約 ¥585K+</b>
<b>ベストケース</b> (Teams が下限なしで 2 シートから開始、有償 Copilot 2 シート)	約 ¥150K	約 ¥90K	約 ¥110K	<b>約 ¥350K</b>

計画立案用の予算レンジ : **¥350K~585K/年**。レンジを左右する不確実性は 3 つあります。Claude Teams が 5 シート下限を課すかどうか (課す場合は初期利用人数に関係なく 5 シート分、課さない場合は使う分だけ)、全 10 名のうち何名が有償 Copilot の対象となるか (個別会話で判断)、そして最終的に何名が Teams パス経由で Claude Desktop を採用するか、です。5 シート下限シナリオの利点は、5 名までの有機的な増加を追加費用なしで吸収できる点です。6 名以降から請求が増えます。

上記シナリオとは別枠で、その他 AI ツールの評価業務 (Ena の ISO 評価用 ChatGPT Team、必要に応じて Gemini) は、ティアとシート数により年間 ¥50~150K の追加が発生する可能性があります。Kanri 経由で承認します。これは基本調達ではなく個別の評価ニーズで発生するため、上表には含めていません。

## 調達の順序

順序が重要です。前提条件を満たさないと、後続の購入が意味をなさない項目があります。

- 最初に E5 Compliance アドオン。** E3 ユーザー 7 名に対する強制力の仕組みがないと、下流のすべてが機能しません。可能であれば 2026 年 7 月 1 日の Microsoft 値上げ前に購入してください。同じ SKU の価格が上がる見込みです。

- 次に **Claude Teams**。業務 PC で Claude Desktop を安全に使えるようにする前に必要です。購入前に Anthropic 営業でシート下限を確認してください。サブスクリプション有効化直後に組織レベルの Cowork トグルを無効化する必要があります。
- サニタイザーの構築は並行で**。CloakLLM フォークの開発は調達タイムラインと並行して進めます。後回しにはしません。
- 有償 M365 Copilot は最後に、個別判断で**。同僚との個別の会話を先に行い、具体的なニーズが確認できた人だけ購入します。90 日間の利用実績を観察し、使われていないシートは回収します。
- 評価用ツール (ChatGPT Team、場合により Gemini) は Kanri 経由で**。メインの調達フローとは別経路で、Ena やその他からの依頼が発生した時点で個別に承認します。

## 買わないもの

検討したうえで明示的に外した項目です：

- サードパーティのブラウザサニタイザー拡張** (anonym.legal や類似品)。Copilot パスが非開発者のブラウザ AI ギャップを埋めるため、新しいベンダー関係も、検討した特定ベンダーで見つかった信頼性の懸念も回避できます。
- E3 ユーザー向けのフル E5 アップグレード**。必要なのは Purview Compliance コンポーネントだけで、E5 の全機能ではありません。Compliance アドオンは E3→E5 のフルアップグレードよりもはるかに安価です。
- チーム利用目的の個人 Claude Pro・Max サブスクリプション**。Pro と Max は管理機能を持たないコンシューマーティアで、特に Cowork トグルがありません。チーム単位での導入には Claude Teams が正解です。実務的な注意点として、リックは個人の Claude Pro Max アカウントにチャット履歴が蓄積されており、Teams への移行には時間と計画が必要です。当面は個人アカウントを継続し、実用的な移行方法が整った段階で移行します。この事情により、Teams のロールアウト自体は妨げられませんが、初期シート構成は Ena ともう 1 名からスタートし、リックは初日から含まれません。
- サードパーティ DLP 製品** (Cloudflare DLP、スタンドアロンの Presidio ホスティング、Microsoft Defender for Cloud Apps 等)。既に所有している Microsoft スタック内で Purview が実効性と監査のニーズをカバーし、開発者側のサニタイズはカスタムサニタイザーがライセンス費なしで担当します。

## 購入前に確認する項目

- Claude Teams のシート下限**。Anthropic 営業に直接確認してください。下限が 5 シートなら、予算は 5 シートまでの有機的な増加を追加費用なしで吸収します。下限がないなら、2 シート (Ena + 試用のもう 1 名) からスタートし、メンバーが増えるにつれて拡大できます。
- Microsoft 値上げのタイミング**。E5 Compliance アドオンをはじめ M365 SKU は 2026 年 7 月 1 日に値上げ予定です。調達がこの日付以降になる場合、新しい価格で費用試算をやり直した上で承認してください。
- 有償 Copilot の対象者リスト**。誰に有償 Copilot が必要かを確認する個別の会話は、購入前に行う必要があります。目標は全体で 2~3 シート (役割は問わない)。項目 4 の Claude Desktop の会話と合わせて実施すれば、同じ人に 2 回ヒアリングすることを避けられます。
- Claude Desktop の対象者リスト**。業務上 Claude Desktop が必要で、したがって Teams シートが必要な同僚を特定します。現時点の想定は Ena ともう 1 名ですが、会話の結果で増減する可能性があります。一人の同僚が有償 Copilot シートと Claude Teams シートの両方を必要とすることもあります。二つの判断は独立しています。

- 
5. **Kanri のその他 AI ツール受付体制。** Ena の ChatGPT Team (必要に応じて Gemini) 評価依頼は、Kanri 承認パスの最初の実テストになります。最初の実依頼が来る前に、上記「その他の AI ツール」セクションの基準と受付テンプレートを Kanri 側に用意しておいてください。

---

## お問い合わせ

株式会社イソリア 〒105-7105 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 5 階 (Workstyling)

電話	03-4577-3380
メール	<a href="mailto:rick.cogley@esolia.co.jp">rick.cogley@esolia.co.jp</a>
Web	<a href="https://esolia.co.jp">https://esolia.co.jp</a>
営業時間	月～金、9:00～18:00



# AI Tools – What We Need to Buy and Why

April 8, 2026

---

## Contents

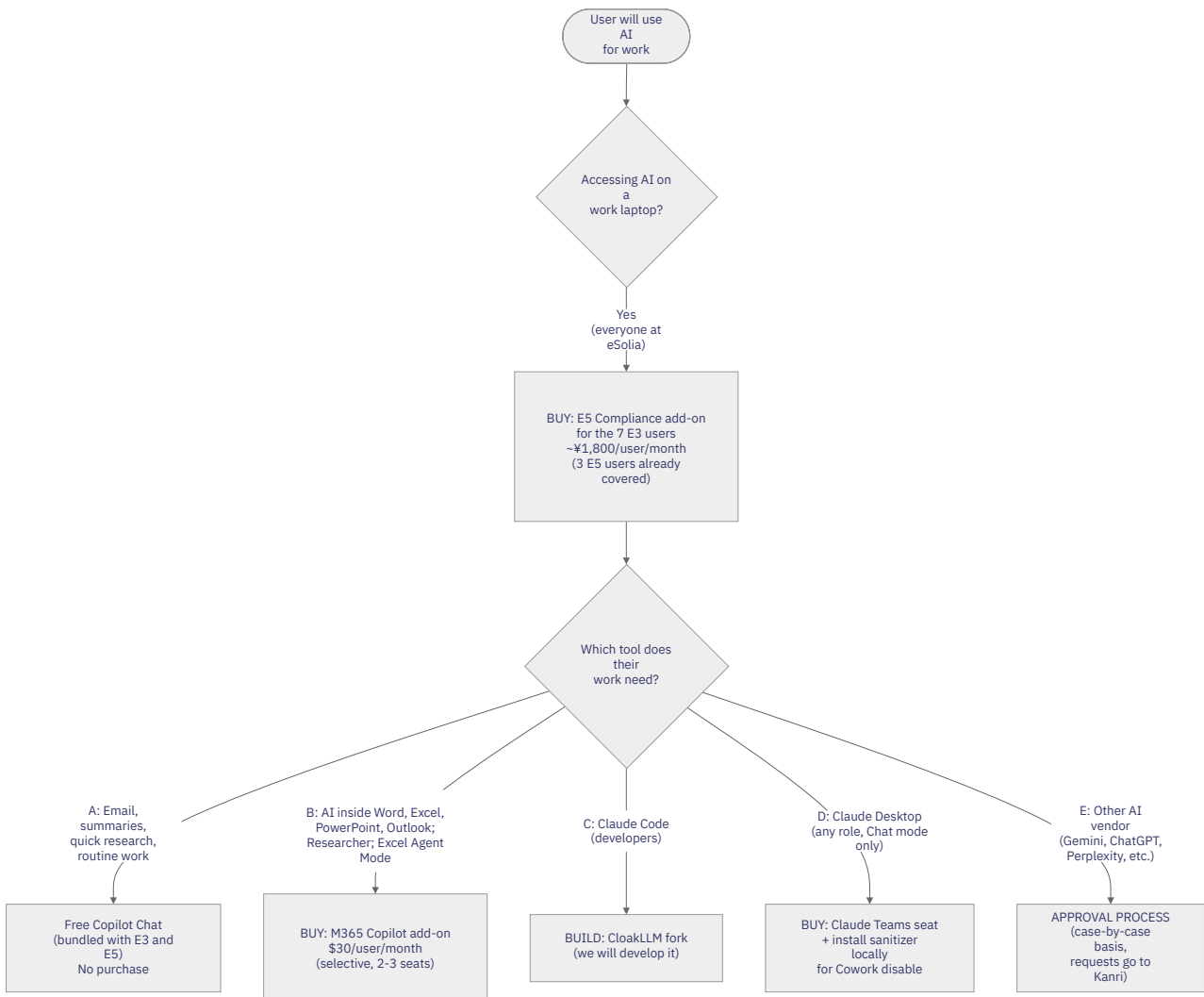
Purpose .....	13
Decision tree .....	13
What each purchase gives us .....	14
Why each line is the right answer .....	14
What about Claude Desktop for non-developers? .....	15
What about other AI tools? (Gemini, ChatGPT, Perplexity, etc.) .....	16
Consumer tiers vs. business tiers .....	16
The DPA question: how a small company handles it .....	17
Approval path .....	17
Currently blocked by default .....	17
Total cost scenarios .....	18
Procurement sequence .....	19
What we are not buying .....	19
Open items to confirm before purchase .....	20
Contact Us .....	21

## Purpose

This is a procurement decision guide. It maps each piece of AI protection we want to the specific product or service that delivers it, with costs. We can use it for procurement justification.

## Decision tree

The tree below is tool-first, not profile-first. A single user might need more than one tool (a developer might use Claude Code and Claude Desktop; an analyst might use paid Copilot and Claude Desktop). When that happens, add up the rows that apply to them.



Decision Tree for AI Tools Purchase

The tree collapses five possible tool needs into five concrete answers. Rows C and D often combine — a developer will typically need both Claude Code and Claude Desktop. Rows B and D might also combine if an analyst needs Claude both inside Office apps and standalone. Row E is the escape hatch for anything not on the default approved list, and exists because we know some people will ask.

## What each purchase gives us

#	Purchase	Who it covers	What it enables	Annual cost
1	<b>E5 Compliance add-on to E3</b>	7 E3 users (3 E5 users already covered)	Purview Endpoint DLP, DLP for Copilot, DSPM for AI. Brings E3 to E5 compliance parity.	~¥150,000
2	<b>Claude Teams subscription</b>	Claude Desktop users. Initial: ISO lead + 1. Rick later.	Admin console with <b>Cowork disable toggle</b> ; centralized billing; org membership.	~¥135,000–270,000
3	<b>Paid M365 Copilot add-on</b>	2–3 colleagues needing in-app AI	AI in Word/Excel/PowerPoint/Outlook/Teams; Researcher agent; Excel Agent Mode; OpenAI/Claude model switching.	~¥55,000/seat
4	<b>eSolia sanitizer (CloakLLM fork)</b>	Claude Code + Desktop users	Local prompt sanitization: swaps client data for placeholders before reaching Anthropic. Internal build.	¥0
5	<b>Free Copilot Chat</b>	All users (E3 + E5)	Baseline AI chat under Microsoft enterprise data protection.	¥0 (bundled)

## Why each line is the right answer

**Line 1 (E5 Compliance add-on) is non-negotiable for E3 users.** The 3 E5 users already have Purview Endpoint DLP, DSPM for AI, and the other compliance features we need as part of their E5 licence. The 7 E3 users don't. Without these capabilities on the E3 machines, there's no enforcement mechanism on most of the team: Purview Endpoint DLP is the control that blocks a colleague from pasting client data into a personal ChatGPT session, DSPM for AI is the audit trail that lets us answer ISMS and client security questions honestly, and Purview DLP for Copilot is what catches sensitive content inside Copilot prompts. These capabilities only come with E5 or via the Compliance add-on to E3. They are not in base E3, and they cannot be replaced by a third-party DLP product at anywhere near this price point. Microsoft's current pricing for the Compliance add-on is approximately \$12/user/month, or roughly

¥1,800 at current rates. Seven E3 users × 12 months lands near ¥150,000/year. After the add-on, all ten eSolia colleagues have the same compliance perimeter.

**Line 2 (Claude Teams) gives us the Cowork disable toggle, which doesn't exist on any other Claude tier.** This is the specific reason we need Teams rather than Pro or Max. Cowork is Claude Desktop's agentic file-access mode — it can read local files, run scheduled tasks, and take actions on behalf of the user. It's also a research preview with no audit trail, incompatible with our ISMS requirements. The only way to turn it off organization-wide is through the admin console that ships with Claude Teams and Claude Enterprise. Individual Pro and Max accounts have no equivalent toggle; Cowork is on by default and stays on. So Teams is the correct tier for any eSolia colleague using Claude Desktop on a work machine. Rick currently has a personal Claude Pro Max account with significant accumulated chat history that would take time and planning to migrate to Teams — he's keeping it for now and will move over as and when a practical migration path appears. In the meantime, the Teams subscription can start with the ISO lead and one other colleague, growing over time as more people come on board. Teams is priced around \$25–30/user/month depending on billing cycle. There may be a seat minimum (typically 5 seats) that needs to be verified with Anthropic sales at purchase time.

**Line 3 (Paid M365 Copilot) is about in-app AI integration, not just Claude access.** Free Copilot Chat (Line 5) covers standalone AI chat for routine tasks. The paid tier is qualitatively different. It puts AI directly inside the apps colleagues already work in — drafting a document in Word, analyzing data in Excel, reviewing email in Outlook, building a deck in PowerPoint — without leaving the app. It adds the Researcher agent for deep multi-source analysis, Agent Mode in Excel for autonomous data work, and the ability to switch between OpenAI and Claude Opus 4.5 as the reasoning model inside those experiences. Claude reasoning is one feature of several, not the whole reason to buy. The test is simple: does this person live inside Office apps for their work? If yes, the upgrade is likely worth it. If most of their AI use is “open a new tab, ask a question,” free Copilot Chat is enough. We expect 2–3 of ten colleagues to qualify — decided individually before procurement.

**Line 4 (sanitizer) is an internal build, not a purchase.** We're forking an open source project called CloakLLM and extending it with Japanese-specific improvements. The fork lives in a private eSolia GitHub repo. Distribution to Claude Code and Claude Desktop users happens via a wrapper script. There is no licence to buy and no vendor to pay. We will develop it.

**Line 5 (free Copilot Chat) is already paid for.** This is the entitlement that comes bundled with every E3 and E5 licence and requires no additional purchase. It's the default AI tool for every colleague regardless of licence tier. Users sign in at copilot.microsoft.com with their eSolia account; the shield icon in the top corner confirms enterprise data protection is active.

---

## What about Claude Desktop for non-developers?

Claude Desktop isn't restricted to developers. In fact, at our current size eSolia has one developer but several colleagues who would reasonably use Claude Desktop — for long-form writing where Claude's interface is stronger than Copilot Chat, for the Projects feature (persistent shared context across sessions), for experimentation in ISMS-related work, or for tasks that simply fit Claude's reasoning voice better than GPT's. This is a real use case and the plan supports it. The initial expected Claude Teams members are the ISO lead (Ena) and at least one other colleague for experimentation, with Rick joining later when his personal Pro Max migration becomes practical.

The tooling for the non-developer Claude Desktop path is the same as for any other Claude Desktop user:

- The user gets a Claude Teams seat under the same eSolia organization (shared with any developers who also use Claude Desktop)
- The Cowork-disabled org setting applies automatically — they benefit from the admin toggle without doing anything
- The sanitizer (the CloakLLM fork) gets installed on their machine via a short session with whoever is running the build. They don't need to touch Python or understand how it works; the install is packaged with a wrapper script and the configuration is managed
- The sanitizer's MCP server gets registered in their `claude_desktop_config.json`, also via the setup script
- From that point on, their Claude Desktop usage is protected the same way developers' usage is — prompts sanitized locally, placeholders swapped in and out transparently, Cowork disabled

The decision gate for a Claude Desktop seat is the same as for a paid M365 Copilot seat: we ask whether the colleague's work genuinely needs it rather than defaulting to yes. Many colleagues will find that Copilot Chat or paid Copilot covers their needs, in which case no Claude Teams seat is required for them. Others will have a concrete reason — a specific workflow, an experimentation mandate, or a capability gap in Copilot — and for them the Claude Teams path is the right answer. A colleague can have both a paid M365 Copilot seat and a Claude Teams seat; the two purchases serve different surfaces and don't overlap.

---

## What about other AI tools? (Gemini, ChatGPT, Perplexity, etc.)

We're currently considering tools outside the approved list for **assessment and experimentation**, driven primarily by the ISO lead (Ena), who wants to evaluate paid versions of Gemini and ChatGPT alongside Claude as part of her responsibilities. This is reasonable — as ISO lead she's accountable for tracking the broader set of AI tools eSolia might use, and hands-on evaluation is part of that work. Rick would approve her use on that basis. The question worth getting right is **which tier** she buys, because the answer meaningfully changes the data protection posture.

### Consumer tiers vs. business tiers

Ena's initial ask was for "Gemini Pro" and "ChatGPT Pro." Both names point at consumer tiers, and neither is the right choice for work that might touch real eSolia or client data.

#### ChatGPT:

- **ChatGPT Plus / Pro** (\$20 / \$200 per month) are consumer tiers. They do not come with a business Data Protection Addendum. OpenAI's consumer terms apply. Not the right choice for work content.
- **ChatGPT Team** (~\$25–30/user/month, 2-user minimum, annual billing) is the business tier. It includes OpenAI's standard commercial DPA, admin console, SSO, no training on customer data by default, and per-organization workspace. This is the correct tier for Ena's assessment work if she's going to touch anything resembling real eSolia content.
- **ChatGPT Enterprise** (custom pricing) is a step above Team and not necessary for a 10-person shop doing assessment work.

#### Gemini:

- **Gemini Advanced** (sometimes called “Gemini Pro” in consumer branding, ~\$20/month via Google One AI Premium) is the consumer tier. Same caveat as ChatGPT Plus — no business DPA, consumer terms apply.
- **Gemini for Google Workspace** is the business tier with enterprise data protection, but it requires a Google Workspace subscription. eSolia is a Microsoft 365 shop, not a Google Workspace tenant, so this option isn’t practically available without also standing up a Workspace tenant — which is a bigger decision than the AI evaluation that triggered it.
- **Google AI Studio / Vertex AI** are developer API tiers with different terms, not appropriate as a chat interface for an ISO lead’s evaluation work.

The practical answer for Gemini specifically is that there isn’t a clean business-tier path for a pure M365 shop. If evaluating Gemini matters enough, the options are: (a) use Gemini Advanced consumer tier but restrict usage to synthetic or public data only (no real eSolia content), or (b) accept the cost of a small Google Workspace tenant alongside M365 if the evaluation will need to touch real content. Both are acceptable paths for a time-boxed assessment if documented.

### The DPA question: how a small company handles it

A reasonable question is how eSolia negotiates a Data Protection Addendum with a vendor the size of OpenAI or Google. The honest answer is: we don’t. Small customers don’t negotiate custom DPA terms with hyperscale AI vendors — we accept the vendor’s standard commercial DPA as offered, and that DPA is typically only available at the business tier (Team, Enterprise, Workspace), not the consumer tier. So the practical criterion for approving a new AI tool isn’t “can we negotiate a DPA” — it’s “does the vendor offer a standard commercial DPA we can accept at the tier we’re buying, without custom negotiation.” If yes, we can proceed. If no, we can’t, regardless of how attractive the tool is otherwise.

### Approval path

Requests for AI tools outside the default approved list go to **Kanri**. The approval conversation covers:

- What is the tool, and at what tier?
- Does that tier offer a standard commercial DPA and admin controls, or is it a consumer tier with consumer terms?
- Is this assessment-only with synthetic data, or does it touch real eSolia content?
- Who is the responsible user, and for how long?
- Is the spend justifiable for the business value?

For Ena’s current assessment use case, the likely recommendation is ChatGPT Team (2 seats, approximately ¥100K/year, with business DPA and admin controls) rather than ChatGPT Pro, with Gemini handled separately depending on whether real content is involved.

### Currently blocked by default

These are blocked at the Purview Endpoint DLP layer until an approval is formally recorded:

- Google Gemini consumer tier (Gemini Advanced / “Gemini Pro”)
- Perplexity (any tier)
- xAI Grok (any tier)
- OpenAI ChatGPT consumer tiers (Plus, Pro) — note that GPT access through Microsoft 365 Copilot is already approved because it runs under Microsoft’s tenant boundary
- Mistral, Cohere, or other model-provider chat interfaces accessed directly

- Specialized Japanese AI services — reviewed case by case
- AI coding assistants other than Claude Code (GitHub Copilot, Cursor, Codeium, etc.) — reviewed case by case

Personal AI accounts used for work content remain prohibited regardless of vendor or tier. That rule doesn't go through the Kanri approval path — it's a standing policy.

## Total cost scenarios

Initial expected Claude Teams seats: Ena (ISO lead) plus one other colleague for experimentation — 2 seats to start, potentially growing as more people come on board or Rick migrates from his personal Pro Max account.

Scenario	E5 Compliance	Claude Teams	Paid Copilot	Annual total
<b>Minimum viable</b> (no paid Copilot, Teams at 5-seat minimum forced even with 2 active users)	~¥150K	~¥225K	¥0	<b>~¥375K</b>
<b>Realistic</b> (2 paid Copilot seats, Teams at 5-seat minimum with 2–3 active users)	~¥150K	~¥225K	~¥110K	<b>~¥485K</b>
<b>Full</b> (3 paid Copilot seats, Teams at 5-seat minimum with 3–5 active users filling the minimum)	~¥150K	~¥225K	~¥165K	<b>~¥540K</b>
<b>Expanded</b> (3 paid Copilot seats + more than 5 Teams users once the team adopts Claude Desktop more broadly)	~¥150K	~¥270K+	~¥165K	<b>~¥585K+</b>
<b>Best case</b> (Teams accepts 2 seats without minimum, 2 paid Copilot)	~¥150K	~¥90K	~¥110K	<b>~¥350K</b>

Budget range for planning: **¥350K–585K/year**. Three uncertainties drive the range: whether Claude Teams enforces a 5-seat minimum (if yes, we pay for 5 seats regardless of initial count; if no, we pay only for the seats we use), how many of the ten colleagues qualify for Tier 2 paid Copilot after the individual

conversations, and how many colleagues ultimately adopt Claude Desktop via the Teams path. A useful property of the 5-seat minimum scenario is that it absorbs organic growth up to 5 Teams users at no marginal cost — only the sixth and beyond add to the bill.

Separately from the main scenarios, the assessment work on other AI tools (ChatGPT Team for Ena's ISO evaluation, and potentially Gemini via some path) is an additional ¥50–150K/year depending on tier and seat count, approved through Kanri. This is not included in the table above because it's triggered by specific assessment needs rather than baseline procurement.

---

## Procurement sequence

Order matters because some of these need to be in place before the next one is useful.

1. **E5 Compliance add-on first.** Nothing downstream works without the enforcement perimeter for the 7 E3 users. Buy this before the July 1, 2026 Microsoft price increase if at all possible — the same SKU is expected to cost more after that date.
2. **Claude Teams second.** Needed before anyone can safely use Claude Desktop on a work machine. Verify seat minimums with Anthropic sales before the purchase order. The org-level Cowork toggle needs to be flipped off immediately after subscription activation.
3. **Sanitizer build in parallel.** The CloakLLM fork work happens alongside the procurement timeline, not after it.
4. **Paid M365 Copilot last, selectively.** Run the individual conversations with colleagues first. Purchase only for those who demonstrate a concrete need. Reclaim any unused seats after 90 days of observed usage.
5. **Assessment tools (ChatGPT Team, possibly Gemini) via Kanri.** Separate from the main procurement flow; approved case by case as Ena or others request them.

---

## What we are not buying

These were all considered at some point in the planning conversation and deliberately rejected:

- **Third-party browser sanitizer extensions** (anonym.legal and similar). The Copilot path closes the browser AI gap for non-developers without a new vendor relationship or the credibility concerns we found with the specific vendor reviewed.
- **Full E5 licence upgrade** for E3 users. We only need the Purview Compliance component, not every E5 feature. The Compliance add-on costs substantially less than a full E3→E5 step-up.
- **Individual Claude Pro or Max subscriptions for team use.** Pro and Max are consumer tiers without the admin controls we need (most importantly the Cowork toggle). Claude Teams is the correct tier for any team-level deployment. A practical caveat: Rick currently has a personal Claude Pro Max account with significant accumulated chat history that would take time and planning to migrate to Teams. He's keeping it for now and will move over as and when a practical migration path appears — this doesn't block the Teams rollout for the rest of the team, but it does mean the Teams seat count starts with Ena and one other colleague rather than including Rick from day one.
- **Third-party DLP products** (Cloudflare DLP, standalone Presidio hosting, Microsoft Defender for Cloud Apps). Purview covers the enforcement and audit needs within the Microsoft stack we already own, and the custom sanitizer covers the developer-side sanitization at no licensing cost.

---

## Open items to confirm before purchase

1. **Claude Teams seat minimum.** Ask Anthropic sales directly. If the minimum is 5, the budget absorbs organic growth up to 5 seats at no marginal cost. If there is no minimum, the Claude Teams line can start smaller (2 seats for Ena plus one experimentation colleague) and grow as people come on board.
2. **Microsoft price increase timing.** The E5 Compliance add-on and other M365 SKUs are expected to rise on July 1, 2026. If the procurement happens after that date, rerun the cost estimates with the new numbers before sign-off.
3. **Paid Copilot candidate list.** The individual conversations to identify who needs paid Copilot should happen before the purchase order, not after. Target 2–3 upgraded seats across the team (any role). This can be bundled with the Claude Desktop conversation in item 4 to avoid interviewing anyone twice.
4. **Claude Desktop candidate list.** Identify colleagues whose work genuinely needs Claude Desktop and therefore a Teams seat. The initial expected list is Ena plus one other colleague for experimentation, but the conversation may surface more or fewer than that. A colleague can need both a paid Copilot seat and a Claude Teams seat; the decisions are independent.
5. **Kanri intake for other AI tools.** Ena’s ChatGPT Team (and potentially Gemini) assessment request is the first test of the Kanri approval path. Make sure Kanri has the intake template and the criteria from the “What about other AI tools?” section above before the first real request lands.

---

## Contact Us

**eSolia Inc.** Shiodome City Center 5F (Workstyling) 1-5-2 Higashi-Shimbashi, Minato-ku Tokyo 105-7105, Japan

<b>Phone</b>	03-4577-3380
<b>Email</b>	<a href="mailto:rick.cogley@esolia.co.jp">rick.cogley@esolia.co.jp</a>
<b>Web</b>	<a href="https://esolia.co.jp/en">https://esolia.co.jp/en</a>
<b>Hours</b>	Monday-Friday, 9:00-18:00 JST